

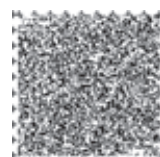
港区

みどりの街づくり賞

景観街づくり賞

区民景観セレクション

令和7(2025)年度 受賞施設等



音声コード
Uni-Voice

目次

港区みどりの街づくり賞 受賞施設

01

348MOTOAZABU

ブリリアタワー浜離宮

田町タワー

リビオレジデンス西麻布

赤坂グリーンクロス

掲載順は審査の優劣によるものではなく、緑化完了届の届出順に基づきます。

審査会委員総評(港区みどりの街づくり賞)

06

港区景観街づくり賞 受賞施設

07

田町タワー

港区景観街づくり賞 奨励賞 受賞施設

08

ブリリアタワー浜離宮

アトラスタワー白金レジデンシャル

荏原 畠山美術館

ポーラ青山ビルディング

港区景観街づくり賞 特別賞 受賞団体

12

港区アドプト・プログラム—道路・公園のボランティア活動

審査会委員総評(港区景観街づくり賞)

13

港区区民景観セレクション 受賞景観

14

電車、モノレールが見えるグリーンウォーク

東京タワーのまもりびと

願いを込めて

港区に滝があった!

穏やかな風の吹くところ

平和の灯

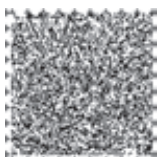
日比谷通りのグリーンストリート

アジサイロード

カワセミやオオタカも子育てをする森

審査会委員総評(港区区民景観セレクション)

19



港区みどりの街づくり賞とは

港区では、昭和54年度から建築計画に伴う緑化計画書の提出を義務付け、緑化の指導を行ってきました。緑豊かな都市づくりには、公共の緑とともに、民間施設の緑化が重要な役割を果たしています。

「港区みどりの街づくり賞」は、優れた緑化計画を行い、その緑地を維持している区民や事業者の緑化施設を表彰し、地域緑化への協力に感謝を示すとともに、さらなる民間緑化の発展を願って、平成16年度に創設しました。

対 象	原則として、前々年度に完了した建築計画に伴う緑化施設で、港区みどりを守る条例施行規則の緑化基準を満たしているもの
審査・選定基準	学識経験者、都市緑化に造詣の深い区民及び環境リサイクル支援部長で組織する港区みどりの街づくり賞選定審査会が、以下の選定基準を基に決定します。 ①周辺の景観と調和し、優れたデザインであること／②維持管理が適切に行われていること／③自然環境の保護と再生に努めていること／④建築物と植栽地がバランスよく配置されていること／⑤既存樹木を活用していること／⑥あらゆる生きものが、相互に関わり合いながら生きられる生物多様性に配慮した植栽計画となっていること／⑦在来植物を取り入れていること／⑧地域社会とのつながりを持ち、地区への貢献度及びみどりの公開性が高いこと／⑨先進的又は総合的にレベルの高い緑化技術を取り入れ、新しい緑の創出に創意工夫がなされていること

港区景観街づくり賞とは

港区では、平成21年に港区景観条例を施行し、同年に港区景観計画を策定しました。これらの条例・計画に基づき、建築物の建築等の際に区との景観協議を義務付け、助言・指導を行っています。

「港区景観街づくり賞」は、良好な景観の形成に関して功績のあった民間の施設や活動を表彰することで、皆さんの景観に対する意識の向上を図るとともに魅力ある街づくりを推進するため、平成23年度に創設しました。

港区景観街づくり賞・港区景観街づくり賞奨励賞

対 象	区と景観協議を行った民間施設のうち、前々年度に完了報告書が提出されたもの
審査・選定基準	港区景観審議会委員、港区景観アドバイザー及び街づくり支援部長で組織する港区景観表彰選定審査会が、以下の選定基準を基に決定します。 ①周囲からの見え方に配慮があり、周辺の街並みと調和しているもの／②建築物、植栽等がバランスよく配置されており、憩いと安らぎを創出しているもの／③地域特性を生かしており、まちの魅力の向上に貢献しているもの／④地域社会とのつながりを持ち、区民等への貢献が高いもの／⑤都市景観の創造に先導的な役割を果たしているもの
そ の 他	特に優れていると認める施設を「港区景観街づくり賞」に、より一層の良好な景観形成を期待する施設を「港区景観街づくり賞奨励賞」に選定し、各受賞者に記念品を贈呈します。

港区景観街づくり賞特別賞

港区景観条例による届出対象以外の、良好な景観形成に功績のあった施設や活動に対し、感謝の意を込めて表彰します。

港区区民景観セレクションとは

「港区区民景観セレクション」は、区民が誇り、愛着を持つ景観を募集・表彰することで、良好な景観の周知・共有を図るため、平成29年度に創設しました。

対 象	「区民が誇り、愛着を持つ街並みその他の景観」として区民等により応募されたもの
審査・選定基準	港区景観表彰選定審査会が、以下の選定基準を基に決定します。 ①地域性が感じられるもの／②波及性があるもの／③発見性があるもの
そ の 他	グランプリを選び、その応募者に記念品を贈呈します。



348MOTOAZABU

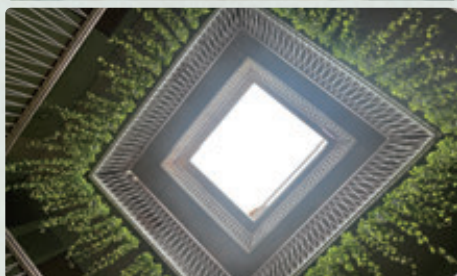
所有者：ニュータウンサービス株式会社
設計者：建築・外構：有限会社kwhgアーキテツ
植栽：SEIN & UI PRODUCT
施工者：建築・外構：北野建設株式会社
植栽：SEIN & UI PRODUCT
所在地：元麻布三丁目4番8号
施設用途：共同住宅、店舗
敷地面積：786.15㎡
緑化面積：53.25㎡
接道部緑化延長：5.08m
緑化面積率：7%
接道緑化率：34%



©小川重雄



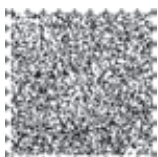
©小川重雄



選定に当たっての評価コメント

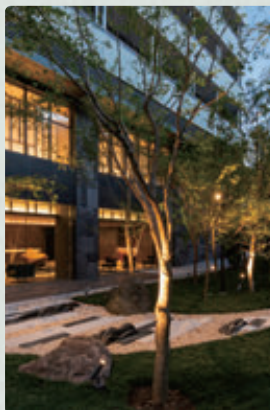
店舗や音楽教室、ギャラリー、工房などがあるユニークな空間構成の地上5階、地下1階の共同住宅で、木本類と草本類を組み合わせた接道部から見える地上部の段々状のテラスや、3階、4階のテラス、屋上庭園に建築主やその仲間たちの緑に対する思いが溢れている。隣地の中国大使館の豊かな緑地を背景にして、構成樹種はオーストラリアなどの外国原産の植物が多く、自然の景観というよりはアートの、または生け花的なしつらえは、22年間続くこの賞の審査作品では見られなかったタイプ。テラス、屋上庭園に取り入れられているカレックスやミュレンベルギアなど、港区にもともとある植物たちではないため、水やり剪定、植え替えなど、人的な管理をしっかり行わないと維持できない欠点があり、審査日は灌水システムの不調で植物の調子が悪く残念な景色でした。

ぜひ、更新し続けて新たな緑の景観を街に見せてください。



ブリリアタワー浜離宮

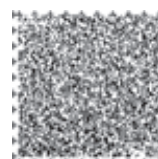
管 理 者：ブリリアタワー浜離宮管理組合
設 計 者：株式会社松田平田設計
施 工 者：株式会社長谷工コーポレーション
所 在 地：海岸一丁目6番1号
施 設 用 途：共同住宅、保育所
敷 地 面 積：2,820.88㎡
緑 化 面 積：569.02㎡
接道部緑化延長：185.02m
緑 化 面 積 率：20%
接 道 緑 化 率：75%



©加藤俊史／株式会社エスエス

選定に当たっての評価コメント

地上32階の建物だが、上層部分と下層部分とは、異なるデザインと色彩の指針が決められていて、周囲への圧迫感を低減させるための工夫が見られる。外構植栽と呼応する低層デザインでは、ファサードもいくつかのテクスチャーの異なる石張りを用いて、落ち着いた感じを出している。この敷地は首都高速道路1号線に接して、コンクリート製の列柱がむき出しになっている。この景観の上での「厄介者」をどう解決しているか。まず入口からラウンジへ。2階吹き抜けのラウンジは、むしろ首都高に向かって作られているが、その「厄介者」は見えない。すなわち、雪見障子(ゆきみしょうじ)のようにある高さ以上は見えないのだ。ラウンジ前には作り込まれたきちんとした小庭園が据えられている。周辺の地図を見ると、この敷地を隔てた首都高速道路の向こうには芝離宮がある。これは芝離宮庭園へのオマージュか。ラウンジから見える歩道を歩く人は、首都高ではなく、この小庭園の方を眺めてくれるはずだ。

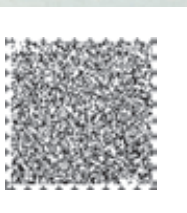


田町タワー

所有者：株式会社田町ビル／徳栄商事株式会社／三菱重工業株式会社
 設計者：株式会社三菱地所設計
 施工者：清水建設株式会社
 所在地：芝五丁目33番11号
 施設用途：事務所、店舗
 敷地面積：8,617.93㎡
 緑化面積：3,544.40㎡
 接道部緑化延長：93.18m
 緑化面積率：41%
 接道緑化率：74%



©中島真吾／株式会社エスエス

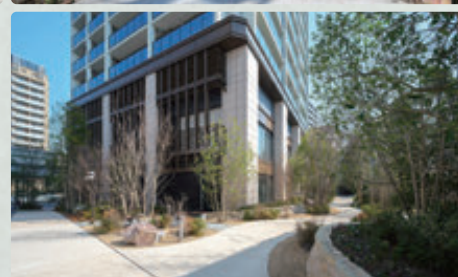


選定に当たっての評価コメント

JR田町駅直近のランドマーク的存在の田町タワーは、地下鉄三田駅と接続する便利さもあり、どんな建物に生まれ変わるのか、多くの人々の関心の的であった。国道から距離を開けて設けられた北側駅前広場には、行き交う人々がゆったり動ける間隔に落葉する高木ケヤキが植栽され、明るい大屋根に誘われて地下鉄につながる階段状広場には常緑のシマトネリコ。「江戸開城会員の碑」を配した東側広場状空地には、常に水が流れる滝とベンチと親しみある緑を組み合わせ、誰もが憩えるスペース。そしてこのあたりではサクラの名所の本芝公園との交点にはウミネコザクラがまとまって植えられ「桜つながり」を演出。加えて鉄道好きが集まるであろう線路が見える南側デッキは、趣を変えてエゴノキの並木。建物四周をそれぞれ物語が感じられる植栽で演出し、誰もが「あぁいいなあ」と呟く空間が生まれた。現在工事中の隣接建物とともに田町駅に繋がる路地状アプローチの誕生が楽しみに待たれる。

リビオレジデンス西麻布

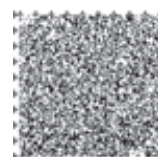
所有者：日鉄興和不動産株式会社
設計者：戸田建設株式会社一級建築士事務所
UDS株式会社
施工者：戸田建設株式会社東京支店
所在地：西麻布四丁目16番3号
施設用途：共同住宅
敷地面積：1,671.33㎡
緑化面積：518.53㎡
接道部緑化延長：81.15m
緑化面積率：31%
接道緑化率：65%



選定に当たっての評価コメント

この物件は六本木通りに面し、そこにつながる2つの道路を加えた計3辺が道路に接している。建物を六本木通りに平行に揃えて配置したことにより、その2道路が直角に交わっていない影響で、不定形な空地が生まれ、変化のある緑地帯が形成されている。館銘板(かんめいばん)、緑地内に点在するサインやベンチ、土留めなどに石材を使用することで、景観に統一感と重厚な趣が創出されている。メインエントランスは、大通りの反対側に配置された緑地帯に沿った水盤を介してアプローチするよう計画されていて、日常生活の中で木々の存在が感じられるように計画されている点に好感が持てる。また、近隣の公開空地と合わせた位置に広場を設けることで広がりのある緑地を形成している。

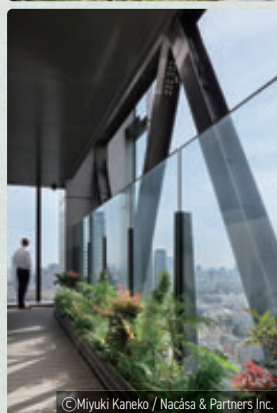
今後、六本木通り沿いに計画されている近隣の物件も、街並みの一体感を重視した配置やデザインを検討し、快適な歩行空間が連続的に確保される見通しがあるとのことである。さらなる魅力を備えた象徴的な「六本木通り」へと発展していくことに期待したい。



赤坂グリーンクロス

所有者：三井住友信託銀行株式会社
建築主：積水ハウス株式会社／日本生命保険相互会社
設計者：株式会社日建設計 地下構造：株式会社大林組と共同設計
施工者：大林・銭高・岩田地崎建設共同企業体
植栽工事：箱根植木株式会社／株式会社日比谷アメニス

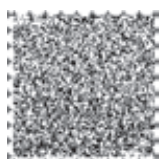
所在地：赤坂二丁目4番6号
施設用途：事務所、店舗等
敷地面積：5,985.98㎡
緑化面積：2,363.32㎡
接道部緑化延長：204.53m
緑化面積率：39%
接道緑化率：82%



選定に当たっての評価コメント

東西の長い敷地の中心に地下3階、地上28階の高層建築を配置。その周囲の緑地を設置できる場所にぎりぎりまで緑化している。東側にある森のゲートを含め、ビル風対策で植栽しなければならない樹木の設置が求められなかったことが幸いし、規則的ではなく6m以上の大木の常緑高木を自然な構成で植栽したことにより、幅が狭い部分もありながら豊かな緑の連続を感じられる。

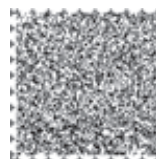
建物の南東面は三角形の極細の構造ブレースが設置されているが、その建物側にワイヤーメッシュを設置し、メンテナンスデッキ上にメッシュプランターを配し、ワイヤーに絡ませるティカカズラ等のツル植物やプランターを覆うブルーパシフィック等の這うタイプの低木を組み合わせた壁面緑化を行っており、超高層建物のファサードのアクセントとなっている。高層部では強風の問題で壁面緑化が根付くことが難しいため、建物に少し入った部分で緑化するこの試みの成果を期待したい。



審査委員総評

「貢献」の総和

今回選定された作品の規模は、階高でいえば4階から32階の範囲。規模の大小はあっても、その存在がいかに周囲に必要とされているか、また周囲にその存在がどう貢献しているかを見ることになる。これが「みどりの街づくり」のための重要な条件の一つと思う。大規模な30階建て前後の建物であれば、膨大な人数を吸い込み、そして吐き出す都市の中の巨大なタワーだ。関係のマンションの住人や会社員、テナントに限定された「貢献」ではすまされない。その規模が巨大だけに周囲（住む人、通行人）にも影響が及ぶ。つまり多くの人々の仕事場と生活圏を提供していると同時に、こうした空間の作り手として、社会的責任についての配慮が問われる。果たして、この課題にどのように応えたか。たとえ、林立する高層ビルが都市空間になろうとも、各ビルから差し出される複相する「貢献」が、手を結び合うことで、人々が住まう場所、働く場所をより心安らぐ空間となっていくことを願う。



赤坂 信

千葉大学 名誉教授



山崎 誠子

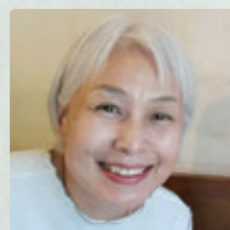
日本大学短期大学部
建築・生活デザイン学科准教授
有限会社 GA ヤマザキ 取締役

緑地フィットネス＝植栽管理

2025年の夏は暑さと物価上昇が止まりません。建築工事費は3か月先も補償できないような状態です。植栽工事も運賃、労務費は上昇していますが材料である高木・低木等の樹木や草花は建築工事にかかわるほかの材料にくらべ上昇していません。半年前はキャベツの値段が低木のサツキツツジより高いぐらいで、年数かけて成長し手間をかけた樹木の値段は驚くほどまだ安いのです。緑地をふやし工事費の軽減を図ってください。しかし一方で、緑地は管理費がかかるから増やしたくないということは必ず言われます。業者さんに頼んだら高くつきますが、草取りや簡単な剪定、水やりなどは専門家ではない人でも十分対応可能です。提案です！緑地フィットネス。有料のフィットネス行かず、24時間ある緑地でフィットネスしましょう。水やり、草取り、剪定、すべて運動につながります。また植物は有酸素運動ならぬ、酸素生産装置です。緑地そばの空気は上等品ですよ。

緑空間が心地よい港区であることを願って

港区に暮らして35年以上、今も毎日にまちが生まれ変わってゆく様を見続けています。大規模な再開発とともにまとまった都会の緑が生まれていますが、このまちに暮らし、また集う人々にとって、この緑空間が心地よい港区となっていると嬉しい…、というのが正直なところです。22回目となる港区みどりの街づくり賞の候補案件は、矩形ではない敷地にまとまった緑地をつくる工夫や、建物そのものに緑を融合させた創造的作品、緑を建物とともにあるアートと捉えた演出など、こんな緑のある建物が港区に誕生して良かったな、と思える楽しいものでした。地元港区に暮らす利点を活かし、入賞案件をあらためて訪れて朝や夜の姿をも眺め、枯れてしまった高木を伐採して広がった広場の心地よさや夜景の素敵さなど、新たな空間・景観を見出して、まちと共にある緑の将来の姿を想像しています。



藤野 珠枝

元港区景観アドバイザー
藤野アトリエ一級建築士
事務所 主宰
港区在住

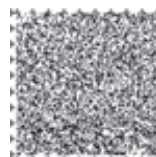


若松 美津子

港区景観アドバイザー
株式会社ウリパカス

街をつなぐ緑の連鎖

事業規模によって緑化のスケールは異なるもののどれも、「みどりの街づくり賞」という性格上、特に道路に面した空地が、地域の魅力を高めるように計画されていました。街路樹と連動させながら、回遊できる散策路や憩いの場を設けたり、近隣の公園を意識して緑地を配置することで緑の広がりやつながりを効果的に生み出したものなど、「敷地内の緑化面積を確保するための緑」という枠組みを超えた、その先にあるものを探求する姿勢が感じられました。また、高層建築のボリュームに対しても、高木を緩衝材として活用し、周囲の景観との調和やスケール感を整え、内部からの見え方も風景となるように計画している点も印象的でした。竣工直後ではなく、2～3年経過後の状態を見学することで、管理状況を垣間見ることができ、緑地への丁寧なケアも感じられました。これからも、これまでの受賞作品も含めて、穏やかで美しい景観を提供し続けていくことを願っています。



田町タワー



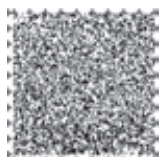
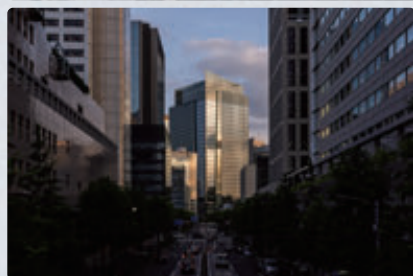
事業主：株式会社田町ビル・徳栄商事株式会社・三菱重工業株式会社
 所有者：株式会社田町ビル・徳栄商事株式会社・三菱重工業株式会社
 設計者：株式会社三菱地所設計
 施工者：清水建設株式会社
 所在地：芝五丁目33番11号
 施設用途：事務所、飲食・物販・サービス店舗、保育所、スポーツ施設、診療所、
 駐車場、駐輪場
 敷地面積：8,617.93㎡
 高さ：156m
 景観協議の対象行為：建築物の新築



©中島真吾／株式会社エスエス

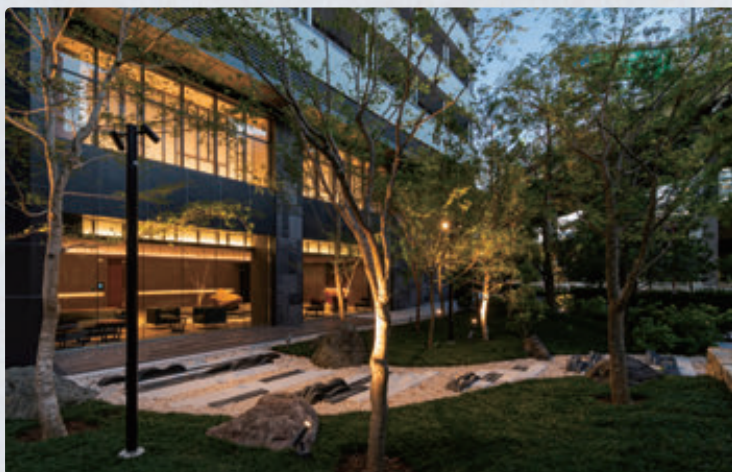
選定に当たっての評価コメント

- ① 立地の特性を丹念に読み解き、複数の都市軸を起点に建築のフォルムや空間構成へと展開している点を高く評価したい。地下と地上をつなぐ大屋根の駅前広場や、低層部の外構については周辺の将来計画も見据えたヒューマンスケールの歩行空間として密度高くデザインされている。また、高層部においても透過性の高いリフレッシュスペースによって建物内部のアクティビティが街に対して表出する、活力あるファサードを実現している。
- ② ガラス壁の立体コラージュのようなファサード構成が遠景におけるこの建物の量感を軽減するとともに、日比谷通りに華麗なアイストップをもたらした。オフィス内環境をプラスにする仕組みが、近・中景レベルでガラス壁の多様な表情となって映る点も興味深い。隣接施設との関係づけも地盤の高低差や植栽を活かして丁寧。地下鉄駅と広場の動線づくり、本芝公園の借景的な活用、鉄道眺望の場づくりなど、多彩で楽しめるとともに全体としてのまとまりを保持している。



ブリリアタワー浜離宮

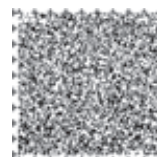
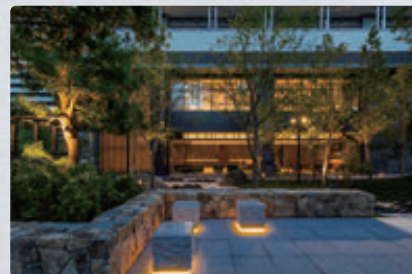
事業主：イトーピア浜離宮マンション建替組合
 管理者：ブリリアタワー浜離宮管理組合
 設計者：株式会社松田平田設計
 施工者：株式会社長谷工コーポレーション
 所在地：海岸一丁目6番1号
 施設用途：共同住宅、保育所
 敷地面積：2,820.88㎡
 高さ：117.22m
 景観協議の対象行為：建築物の新築



©加藤俊史／株式会社エスエス

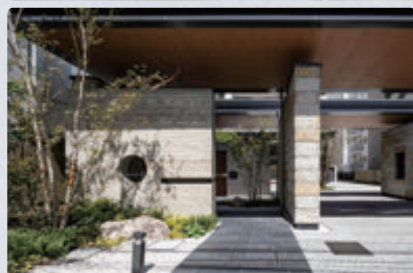
選定に当たっての評価コメント

- 1 建物ファサードは底の構成と色の組み合わせが見事で、この建物の外観を軽快で上品なものにしている。エクステリアは、特に建物西側の広場Aを興味深く見た。建物寄りフロアからの鑑賞を意識したプライベート空間で枯山水風の仕上げ。その外側に接して歩道状空地。こちらは自然石でかっきりと縁取られた植栽帯を雁行させ、あるいは整形的な石造スツールを配して格調がある。この内と外の対比が、決して広いとは言えない歩道状空地に奥行きを与えている。
- 2 建替えて新たにできた建物は、三角形の敷地を巧みに活かしふたつの外構空間を作っている。ひとつはエントランス脇に設けられ居住者が自分の庭園の用を感じる緑の空間、もうひとつは近隣に開かれた用を感じる緑の空間である。いずれの空間も周辺の緑と調和と連続性があった。また周辺地域の開発も視野に入れた防風計画の策定も考えられていた。ロビーから眺める木々は上手く高速道路を隠し奥行き感を出しており、それがまた都市の喧騒を和らげる空間だった。



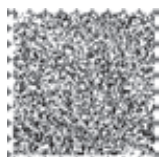
アトラスタワー白金レジデンシャル

事業主：日興パレス白金マンション建替組合
 管理者：アトラスタワー白金レジデンシャル管理組合
 設計者：株式会社NEXT ARCHITECT&ASSOCIATES
 施工者：前田建設工業株式会社
 所在地：白金一丁目25番21号
 施設用途：共同住宅
 敷地面積：1,614.97㎡
 高さ：77.09m
 景観協議の対象行為：建築物の新築



選定に当たっての評価コメント

- ① 土地が貴重な都心には敷地一杯に立つ建物や公開空地と引き換えに容積率の緩和を獲得したビルが多い中、ここは敷地の前面に低層のエントランスとロータリー式の車寄せを配置している。子供のころ近所には敷地塀の門扉を抜けた少し先に家屋の玄関を配した家が何軒もあった。そんなゆとりある昭和の建築に通じる設計に心 and む。凝らした意匠を誇らしげに語る住民の笑顔がまぶしい。車寄せのヤマザクラが近隣から愛される立派な木に育った姿を見てみたい。
- ② マンションのリノベーションで高層にする際にセットバックし、配達車等が中に入って移動できる前庭とし、敷地計画として提案性が高い。門構えに芦野石を取り入れ、シンボリックな樹木も気持ち良く、住宅街としての品格を高める効果を感じさせる。エントランスから見える左官壁に敷地の土も取り入れたり、高層部の外壁にはさりげなく濃淡を活かしたりして、新しさと日本の伝統を合体させている。周辺の今後への提案を感じさせる。



荏原 畠山美術館

事業主：公益財団法人 荏原 畠山記念文化財団
 所有者：公益財団法人 荏原 畠山記念文化財団
 設計者：基本設計 株式会社新素材研究所
 実施設計 大成建設株式会社一級建築士事務所
 施工者：大成建設株式会社 東京支店
 所在地：白金台二丁目20番12号
 施設用途：美術館
 敷地面積：4,906.45㎡
 高さ：14.985m
 景観協議の対象行為：建築物の増築

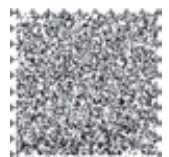


©走出直道／株式会社エスエス 1~4
 ©伊藤彰／アイフォト 5

1/5
 1/4
 3/2

選定に当たっての評価コメント

- ① 閑静な住宅地にある美術館は1964年に開設され、今回新たに建物が増築・リニューアルされた。既存の庭園は緑の豊かさや苑路の趣を損なうことなく、新たにバリアフリー化を行っている。庭園随所には伝統的な技法で造られた意匠が多数あり、今後も大切にしたいと思う庭園だった。また増築部分も、周囲の緑量に調和するよう新たな緑地空間が設けられている。開館時には、近隣住民にも広く開放され地域に根差した美術館である。
- ② 起伏に富む港区では思わぬところに湧水が出現し驚くほどの水辺が形成されていたりする。この建物は都心の一戸建てが立ち並び住宅街の中に唐突に出現する森の一角に立っている。森とそれに囲まれた池や点在する茶室などの既存の建物を生かすための工夫には頭が下がる。苑が公開されていることも嬉しい。地域に根差した施設が一带の価値を高めていると感じた。この辺りには環状4号線の延伸計画があると聞く。道路の開通がこの施設が作る静謐な空間を変えてしまわないことを切に願う。



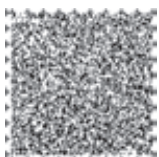
ポーラ青山ビルディング

事業主：株式会社ピーオーリアルエステート
 所有者：株式会社ピーオーリアルエステート
 設計者：安田アトリエ+株式会社久米設計
 施工者：鹿島建設株式会社東京建築支店
 所在地：南青山二丁目5番17号
 施設用途：事務所、集会場、展示場、保育所、自動車車庫、飲食店
 敷地面積：2,465.81㎡
 高さ：86.5m
 景観協議の対象行為：建築物の新築



選定に当たっての評価コメント

- ① 青山通りのソリッドな表情に調和したガラスとプレキャストコンクリートによる端正なファサードを基調としつつ、街の床の間と名付けられたメタリックな切り欠きが景観の新たな特異点を創出している。高さ30mの巨大なヴォイドの足元には回廊状の外構空間や透過性の高いロビー空間が連続してデザインされ、屋内外に配置されたアート作品により、オフィスビルでありながら、さながら街のギャラリーのような表情を都市に還元している。
- ② アートやファッションの先端としての青山通りを支えるデザイン性再構築のビルと言える。昭和初期の最先端であった「土浦亀城邸」を復原・移築するなど、デザインのまちをさらに意識させてくれる。壁面のオブジェは写真では違和感があったが、実際みるとモダンなビルにもかかわらず思わず笑みがこぼれる感じだった。高低差を活かしての緑地にベンチを設置し、通りがかりの人にも休憩場所を提供。今後の周辺の再整備の先導の事例として期待したい。



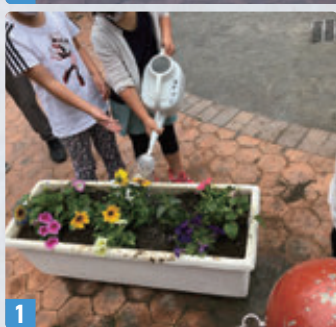
港区アドプト・プログラム 道路・公園のボランティア活動

港区アドプト・プログラムとは

港区アドプト・プログラムは、地域の方々が道路・公園の維持管理（清掃や花壇管理等）を自主的に行う活動のことです。区民等が相互に協力し、地域の共有財産である道路・公園等の緑化活動や清掃等を行うことにより、道路・公園等への愛着心を深め、利用者のマナー向上と清潔で快適な街づくりの推進を目的として、平成14年度から実施しています。

今年度の受賞団体

今年度の受賞団体は、港区アドプト・プログラムで活動継続5年を経過した団体です。地域の皆さんが主体となった清掃・修景を行うことで、身近な景観街づくりに大きく貢献していただいています。区から感謝の意を込めて、特別賞として表彰します。



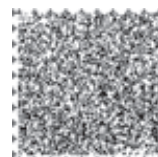
令和7年度景観街づくり賞特別賞 アドプト登録団体一覧

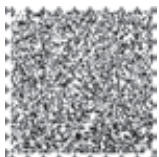
令和6年度末に活動継続5年を経過した港区アドプト・プログラム登録団体(全2団体)

	実施団体	場所・種別	活動内容	地区
1	三田松坂みどりの会	児童遊園・道路	花壇管理・植栽管理・パトロール・清掃	高輪
2	豊田通商株式会社	道路	清掃	芝浦港南

アドプト・プログラム問合せ アドプト・プログラムについて 各地区総合支所まちづくり課土木担当

各 地 区 芝 地 区 03-3578-2032 麻 布 地 区 03-5114-8803 赤 坂 地 区 03-5413-7015
電 話 番 号 高 輪 地 区 03-5421-7664 芝浦港南地区 03-6400-0032





審査委員総評

周囲への愛情と敬意が魅力として直感されるとき

プロジェクトが周囲にどのような愛情と敬意をもって接してくれているか。これがポイントだと、毎回の審査を通じて思います。外向きの魅力を放つ建物が増えていく。それによって区の景観の魅力が育ち蓄積される。建築作品賞ではないから、目は建物内部よりも周囲と外観に向きます。公開空地ならその質に。建物内部まで公開されていればそこも含めて。建物が周囲の景観向上を先導しているなら、あるいは周囲の景観に敬意を表しそれに呼応しているならそこに。賑わいが途切れそうな場所でその創出を試みているならそこに。言葉として記載された設計者の思いもさることながら、非言語的にプロジェクトに接して魅力が直感される。そんな「作品」に引き寄せられました。

齋藤 潮

港区景観審議会 会長
東京科学大学
名誉教授



杉山 朗子

港区景観審議会 副会長
株式会社日本カラー
デザイン研究所
研究フェロー

まちの生活や緑・歴史・景観全体の 提案型計画が増えた港区

今回の景観街づくり賞候補は建築—緑—周辺の生活と景観とのバランスを考慮した事例がこれまで以上に揃っていて、港区ではさすがに進んだ計画が行われるのだと感心させられた。日本らしさや歴史と伝統を意識して石や木などの自然材を取り入れたり、近隣を通る人々

の行動や周辺の交通事情を配慮した敷地計画をしたりなど、都市でのデザインの最先端であろう。憩いと安らぎ、便利さと安全などを検討したことが感じられた。環境や景観を本格的に取り入れて開発の基本としている地域になってきている。今後もさらに提案性の高い計画が進む期待が高まった。

魅力ある街づくりに期待する

2年前の景観表彰選定審査会で見せていただいた建物は高層マンションから個人の住居兼事務所まで多様な候補が揃っていたが、今回は大規模な建物中心で画一的では、というのが事前に資料を眺めた際の印象であった。ところが台風の余波が残り突然の雨に打たれながら各候補を巡るなかでその感想は大きく覆された。予備選定を通過した候補は立地、周辺の状況、接道、人の流れ等々、それぞれの与件を踏まえた工夫を盛り込んだ建物に仕上げられていると感じた。港区のような都市部では街の景観を決める構成要素として建物の役割は大きい。そこに暮らす者として、その街への愛着を深めるような建物により街の魅力が高まっていくよう、区の取組を応援していきたい。

奥平 浩

港区景観審議会
区民委員



村井 一

港区景観アドバイザー
東京都市大学 准教授
合同会社村井一建築設計
代表

景観街づくりの面と点

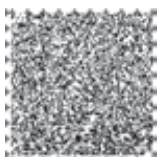
審査にあたり、個々のプロジェクト(=点)について立地や周辺環境(=面)との関係性を読み解く訳ですが、港区らしく、今回もその関係が多様な審査対象が揃ったと思います。それゆえアワードとしての評価にも困難を伴うのですが、選定された作品はそれぞれに、熟考されたデザインの中に、「面」を読み解きつつ、「点」を起点に新たな景観の魅力を生み出すための参照性・展開性が高く備わっていたと思います。また、こうした面と点の時間軸も含めた協調が「景観街づくり」の原動力なのだと再認識しました。出来上がった建築の姿形だけではなく、プロジェクト関係者が注がれた創意も含めて、これからの港区の魅力に波及していくことを祈ります。

緑と街と人のこだわりと未来

港区は常に変化を続ける都市であり、今回もその動的な街の姿が随所に見られました。大規模な再開発ではありませんが各所で、進行している建て替えや改修が多かったです。それぞれの計画は新たな街並み造りに向けて、考えられた景観が多かったと思います。地域特性を踏まえ、住民・施工者達のこだわりが感じ取れました。緑地に対しても、地域景観に調和した緑地造りや、既存緑地保全への意識が高かったです。近年コスト面を含め、物事を進めていくことが容易ではありませんが、自分たちの地域をより良くしていきたいという思いが、景観に表れていたと思います。これからも次々と新たな景観が造られていきますが、地域の未来を見据えた街づくりを期待しています。

岩男 弘美

港区景観アドバイザー
有限会社GAヤマザキ
シニアディレクター



電車、モノレールが見える グリーンウォーク



テーマ

心和む景色

回遊したくなる楽しい通りの景観



選定に当たってのコメント

ゆったりと蛇行した細長い空間が、上品にデザインされた緑・シェルター・ショップなどで調和的にまとめられている。が、時折上空に現れるモノレールがこの魅力の要だろう。これによって景観は既成の調和の域を超えてリアリティを放ち生き生きと脈動する。モノレール高架の橋脚がノイズ感なくおさめられているのも効いている。

その他の評価コメント

- ▶モノレールの軌道施設との融合的な空間が印象的。
- ▶敷地内にモノレールの軌道があり、モノレールが通過する景観やライトアップされた景観がとても印象的。

応募者からの推薦コメント

緑の遊歩道が涼しげで、特に夜景が、モノレールと相まって際立っていて、新たな夜の散歩コースに。

応募者:丸山 孝典(区内在住)

緑の多い新しい長い道です。新幹線、JRの電車、モノレールが見える楽しい道です。

応募者:岡崎 純子(区内在住)

東京タワーのまもりびと

テーマ 心和む景色



選定に当たってのコメント

芝公園から東京タワーが聳え立つのを見るのはいつものことだが、タワーの足元に如意輪観音堂が佇んでいるのを見て、顔が綻んだ。ずっと見守ってくれていたんですね。ここで一緒に過ごす時間が楽しみになりました。

その他の評価コメント

- ▶ 東京タワーの足元に、隠れ家的な存在な場所に祀られている菩薩像が印象的。
- ▶ 東京タワーとの組み合わせにより新旧の名所が引き立て合っている。

応募者からの推薦コメント

自分も詳細はわからないのですが、東京タワーが建つ前からここに祀られていたと聞いております。東京タワーと港区の安全を静かに見守ってくれている、まもりびとのような菩薩様です。 応募者:平野 暁宏(区内在住)

願いを込めて

テーマ 心和む景色
味わい深い歴史・文化を感じる景観

選定に当たってのコメント

愛宕神社といえば、急勾配で知られる「出世の階段」が象徴的な存在である一方、境内は都心とは思えないほどの静けさと豊かな緑が広がっている。歴史と自然が調和したこの場所は、地域にとって貴重な財産である。

その他の評価コメント

- ▶ 神社境内を対象とした社殿などが作る景観。
- ▶ 愛宕神社の象徴的な急な石段と赤い鳥居を捉えた景観が、歴史や文化を感じさせる。

応募者からの推薦コメント

建物が綺麗だから。 応募者:安孫子 由佳(区内在学)
人々の願いがこもった絵馬と願いを神様にお伝えする場所である本殿、願いを叶える星のようなランプをうつし、願いを叶えようとする道を神様が眺めているように撮らせて頂きました。 応募者:山田 歩佳(区内在住・在学)
曲垣平九郎の故事にちなみ呼ばれている出世の石段を1段1段丁寧に上がりながら上を目指すのがとても魅力的です。またこの急な石段を上った先に見える愛宕神社の雰囲気がとても心地よいです。 応募者:金光 理玖(区内在住)

港区に滝があった！

テーマ 心和む景色



選定に当たってのコメント

日本初のランドスケープデザイナーといわれる長岡安平が、武蔵野台地崖線の地形を活かし、もとの滝をベースに渓谷を築造した。喧騒を忘れて9種類と言われる紅葉に見惚れてしまう。芝公園は魅力溢れるデザインの宝庫。

その他の評価コメント

- ▶紅葉の季節が綺麗。季節によって雰囲気に変化する。
- ▶旧芝離宮恩賜公園がみえて心和む風景。

応募者からの推薦コメント

東京タワーの真下に滝が流れる不可思議な光景は魅力的。東京タワー周辺の撮影スポットは数多く外国人観光客に人気だが、とびきりのスポットになるはずだ。

応募者:宮内 正英(区内在住)

穏やかな風の吹くところ

テーマ 心和む景色



選定に当たってのコメント

青山通り沿いの赤坂御用地を正面に眺める立地にありながら、ここは静かで落ち着いた空間である。都会の真ん中に現れた小さな森の足元にはせせらぎが広がる。四季を通して心を穏やかにしてくれる。他人には教えず自分だけのものにしておきたくなる。

その他の評価コメント

- ▶青山通りに面しているながら静かで落ち着ける場所。
- ▶豊かな緑が印象的。

応募者からの推薦コメント

一歩足を踏み入ると、国道246のすぐ脇にあるとは思えないくらい落ち着きを感じる不思議な空間。高橋是清の邸宅跡だからでしょうか。タイムスリップしたかのような非日常感を覚える公園です。

応募者:三島 融(区内在勤)

高橋是清翁記念公園へ生き物探しに行きました。

応募者:匿名(区内在住)

平和の灯

テーマ 心和む景色



選定に当たってのコメント

港区平和都市宣言20周年を記念して芝公園に設置された「平和の灯」。国際情勢が揺らぐ今、東京タワーをはじめとしたスカイラインと重なる視線の軸が、私たちの日常と平和の意味を静かに浮かび上がらせます。

その他の評価コメント

- ▶ たくさんの人に知ってもらいたい場所だと思う。
- ▶ 要素の組み合わせは印象的であり、また発見的である。

応募者からの推薦コメント

港区に暮らして50年になりますが芝公園の「平和の灯」が広島原爆の実際の炎だということは知りませんでした。このことは 港区住民だけではなく、たくさんの人たちに知らせ大切に灯を守りたいと思います。

応募者: 工藤 裕美(区内在住)

日比谷通りのグリーンストリート

テーマ 心和む景色



選定に当たってのコメント

増上寺や芝公園の緑に縁どられた日比谷通り。初夏の新緑から秋の紅葉まで彩りの移ろいが目を楽しませ、豊かな緑量が静けさをもたらす街路空間は、都市の中に息づく自然の時間軸を感じられる貴重な風景です。

その他の評価コメント

- ▶ 街路樹により作られた景観。都市の中で季節を感じる。
- ▶ 豊かなグリーンで暑い夏にも沿って歩ける。

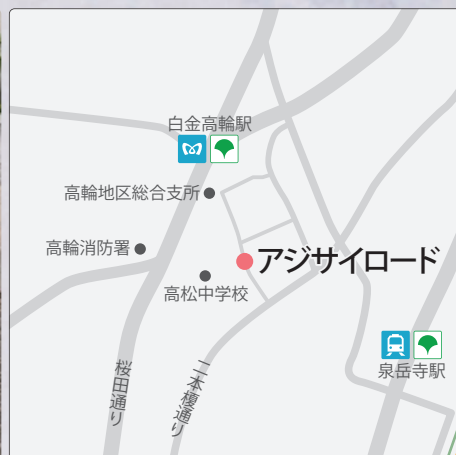
応募者からの推薦コメント

普段は何気なく歩くストリート、新緑の季節になると舗道一面「色とりどりの緑」に囲まれ歓喜する。そして車道の喧騒は樹木に吸収され、グリーンのアラギを貰える。

応募者: 石綿 修一(区内在住)

アジサイロード

テーマ 心和む景色
回遊したくなる楽しい通りの景観



選定に当たってのコメント

通学路に約100メートルにわたって連なるアジサイは、日常の風景に彩りを添え、季節感を豊かに伝えている。今後も地域に根差した季節の風景として、長く愛され続ける場所となることを期待したい。

その他の評価コメント

- ▶ 印象的な景観で、区民からも親しまれている。
- ▶ 沿道をアジサイが埋める景観。

応募者からの推薦コメント

毎年、あじさいがフェンスから顔を出して通勤通学やお散歩の人のところをなごませてくれる風景です。 応募者:梅津 義正(区内在住)
金網の隙間から花を咲かすアジサイが迎えてくれる道です。

応募者:佐々木 一(区内在住)

大きくて綺麗な紫陽花がたくさん並んでいて、紫陽花の季節にお散歩するのが楽しい場所です。 応募者:齋藤 玲奈(区内在住)

カワセミやオオタカも子育てをする森

テーマ 心和む景色



写真提供：国立科学博物館附属自然教育園

選定に当たってのコメント

武蔵野台地の周縁部に位置する港区には起伏に富んだ地形が作る多様な景観が広がっている。その武蔵野の面影を今も残す自然教育園の森。ここの魅力を切り取って伝えることは困難です。まして言葉でなど。是非とも訪れてみてください。

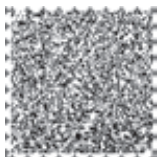
その他の評価コメント

- ▶ 都心にある貴重な緑と生態系がつくる景色。
- ▶ 自然教育園は都内でも他にはない重要な場所。

応募者からの推薦コメント

いわゆる武蔵野の自然を感じることができます。公園の森とは違い、動植物の自然な営みを感じる事ができます。夏にはヒグラシの鳴き声が聞こえます。

応募者:矢野 隆弘(区内在住)



審査委員総評

「心とむ景色」の意味を噛み締めて

「心とむ景色」というメインテーマにたくさんの応募があった。区民の関心浅からぬ「和む」とはいったいなんだろう。辞書によれば、気持ちが穏やかになる、ほっとする…。これを裏返せば、われわれが日頃どれだけ心を緊張させているかが見えてくる。硬質な素材で固められた空間の中で、時間に追われギリギリと生活することを強いられ、人々は神経質になり、いらいらし、怒りっぽくなる。その救済がほどよい緑に包まれること、祈りの場所に接すること、満開の花々に出会うことなのだろう。ところで、どちらかと言えば硬質な印象のグリーンウォークが「心とむ景色」で応募されたのは少し意外だった。巧みな緑の配置故か。それとも「評」中の何かが遠因か。

齋藤 潮

港区景観審議会 会長
東京科学大学 名誉教授

杉山 朗子

港区景観審議会 副会長
株式会社日本カラー
デザイン研究所 研究フェロー

自然、歴史、時代の先端デザインが構築してきた 港区の生活と景観

豊かな地形と時代毎のデザイン溢れるまち港区がますます姿を現してきたように感じる。都心でビジネス街の先端と思われがちな港区だが、埋立て以前の海から聳え立つ崖線のある地形や、古代から始まって江戸、東京と変わってきた歴史を彷彿とさせる遺跡や神社や寺院、お洒落な建築が残されている。石垣や生垣、階段にもふっと心引かれる。大通り沿いに豊かな緑地や並木があり、心とむ静寂を満喫できる場所があることにも驚かされる。近年はこれまでに増して、地形や街の歴史を活かした計画が進んできているので、さらに港区の魅力が複層的に高まって行くであろう。地元の方しか知らないような散歩ルートなど是非幅広く紹介してほしい。

セレクションが愛され続けますように

今回も沢山の区民の「推し」を見せていただきました。自分の生活圏にありながら気づかなかった素敵な景観、同じ港区ながら滅多に足を運ばないエリアの印象的な眺め。それを絞り込んでいく過程での、個人の思い、行政の行いであるが故の制約、そして各分野のご専門の方々の独自の視点。結果として選ばれた景観が区民にとって納得できるものになるのか、選外となった応募者の方が何を思われるのか、今回は結構重たい仕事になってしまいました。積み重ねられてきた皆さんの「推し」がこれからも永く港区を代表する景観として広く愛されていくことを楽しみにしています。

奥平 浩

港区景観審議会
区民委員



景色の吟味と街づくりの未来

「心とむ景色」という公募テーマのもと、今回も個性豊かな視点の応募が寄せられました。懐古的に受け取られがちなテーマかなとも思いましたが、写真やコメントをつづさに拝見すると、都市の新旧が混ざり合い、日常生活と重なり合うことで生まれる魅力的な場面が数多く見受けられました。心に自然と受け入れられる景観とは、過去と現在といった異なる時間のいずれかでもなく、対立するものでもなく、巧みに重なり合い、並走する状態のなかに生まれるのだと、あらためて実感します。区民景観セレクションにおける景色の吟味から浮かび上がった一人ひとりの「心の声」が、未来へと続く景観街づくりの継続的なヒントとなることを願っています。

村井 一

港区景観アドバイザー
東京都市大学 准教授
合同会社村井一建築設計 代表

岩男 弘美

港区景観アドバイザー
有限会社 GA ヤマザキ
シニアディレクター

気づかなかった景観と新しい都市の表情

回を重ねることで同じ景観や視点が重なり、印象が似通ってしまいがちな中、今回は古くからあるのに気づかなかった景観と、新しい都市の景観が同じテーマの中で並び合っている点がとても印象的であった。これは、港区が持つ多彩な景観の豊かさがあるからこそ生まれる対比だと思う。歴史の気配を静かに伝える景観から、未来へとつながる新しい景観まで、地域が本来備える特性と可能性が示されていると思う。これから続く変化の中でも、守りたい景観をあらためて見つめ直す機会となしてほしい。

〈景観に関する港区ウェブサイト〉



みどりの街づくり賞
に関する情報



区民景観セレクション
に関する情報



景観街づくり賞
に関する情報



区民景観セレクション
受賞景観ショートムービー

「港区景観街づくり賞」

〈港区景観アドバイザー ※敬称略〉
予備選定をしていただきました。

若松美津子 片岡 照博 村井 一
岩男 弘美 藤井 亮介 加藤 幸枝

「港区区民景観セレクション」

〈港区景観審議会委員 ※敬称略〉
募集テーマの決定と予備選定をしていただきました。

齋藤 潮 杉山 朗子 長谷 高史
矢口 哲也 山崎 誠子 渡邊 大志
奥平 浩 根岸 晴美 藤井 恵介





みどりの街づくり賞

港区環境リサイクル支援部 環境課
港区芝公園 1-5-25 TEL: 03-3578-2330

景観街づくり賞 区民景観セレクション

港区街づくり支援部 都市計画課
港区芝公園 1-5-25 TEL: 03-3578-2210

